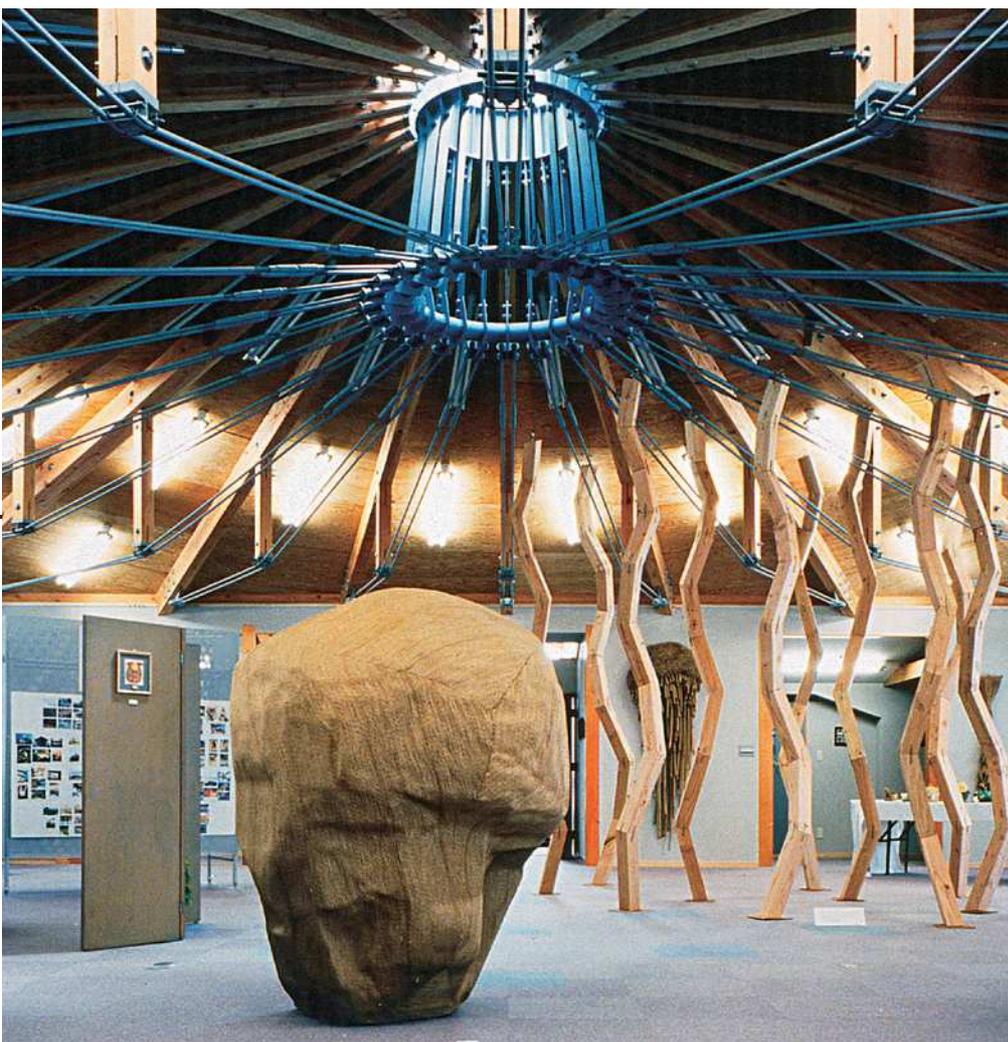




ゆきん子ペンギン教会



巣舞る工房 モクード

居場所探しの旅の途上にて!

居場所の原点は「す・まい」である。
「巣舞」と書く：巣は形+舞は想：
想いが形になる!
想いを紡ぐことで
我が家の「舞 (my)・Story」が誕生
やがて建築群のシルエットは
「景観 (his)・Storyとなり
History (歴史) へとつながっていく。

居場所探しの旅の途上にて
今の想いが歴史と文化を創り出す。



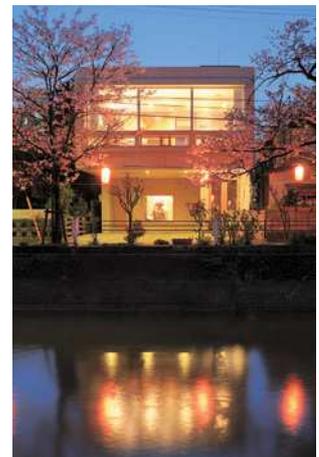
「生命の川計画」プロジェクト



ファサモンド

第15回県賞 最優秀賞／平成19年度日事連建築賞 奨励賞
長岡市／139.10㎡／W 2F／2005年

それぞれに切り取られたファサードの美しさやプランニングにおける機能は、様々に相乗しながら全体を形づくっている。当住宅はモンドリアンのグリッド・コンポジション（短形美）の手法を採用し、ネーミングは題して「ファサモンド」とした。



Flying House 桜観荘

第18回県賞 奨励賞
長岡市／255.16㎡／RC 2F／2007年

建設地のロケーションは、桜並木の名所福島江治いである。RC 打ち放しキャンチレバー工法を採用し、「室内から桜を観る桜観の間は、前面ピクチャーウィンドファサード」である。フォルムは、シンプルに1Fと2Fをスライドさせることで生じるキャンチレバー空間、そして2階には空に向かって伸びる大コートテラスが作り出された。



健康の駅ながおか 第15回県賞 優秀賞

長岡市／新日鐵・本間組・大川JV、安藤・渡長建設JV／
5,862.75㎡／RC 5F／2005年

信濃川と長岡駅前大通りがクロスする場所に建てられた高齢者センター。船をイメージさせる外観に人々が行きかう交流を象徴するクロスポイントのモチーフを取りつける。「健康の駅ながおか」と名づけられた当施設は人々が行き交う出会いの場でもある。



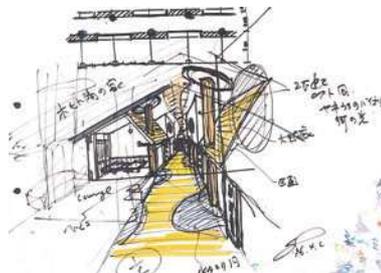
サポートセンター 摂田屋 in リプチの森
第20回県賞 優秀賞

長岡市／972.29㎡／W 1F／2010年
全体計画は、街並みに合うように小さな家々が集まった形。地域交流室には、カフェテラスやキッズスペースもあり、世代交流の場となる。



サポートセンター 川崎 ツウイング

第21回県賞 優秀賞
長岡市／1,203.40㎡／W 2F／2012年
同じ四角形でも角度を振るだけで「スクエア」から「ダイヤモンド」になる。老人を“豊人・ダイヤモンド”になぞらえて、デザインモチーフとした。



ホスピデンス 田宮病院精神科病棟第8病棟

第6回県賞 最優秀賞／第22回建築士事務所全国大会 奨励賞
長岡市／清水建設／2,669.61㎡／RC 2F／1996年
一般急性期患者を対象に短期療養型、開放タイプの治療棟として計画された。内部空間は、多世帯が住む小さな街づくりの空間を想定した。廊下は道であり、それぞれの療養室を各戸の住宅にみたてた。



フロムヒアー認知症治療病棟



ぶんすい 介護老人保健施設 平成12年照明普及賞／第10回県賞 優秀賞

燕市／清水建設、水倉組／4,797.8㎡／RC3F／2000年

廊下は道路、療養室は家々。外部街並みを室内に写像するフラクタル空間。8文字空間と桜並木のフォルムのメインホール。



喜多町診療所 第8回県賞 優秀賞

長岡市／中越興業／775.54㎡／S2F／1998年

長時間の治療を要する透析患者の方々に用意された大きな空間は、アーチデザインで区画し、ゆったりとくつろげるスペースとした。



ゆきん子ペンギン教会

第2回県賞 優秀賞

長岡市 / 354.66㎡ / RC + W 2F / 1992年
雪国の個性を。“ゆきんこ”と“ペンギン”とをコンビさせ、“ゆきん子ペンギン教会”という愛称をつけ、デザインモチーフにおいた。構造は、4基のRC基台から中央にのびる集成登梁で構成。あらかしのストラクチャルデザイン性を持たせる。



はすの葉チャーチ

第6回県賞 奨励賞

上越市 / 清水組 / 321.53㎡ / W 2F / 1996年
蓮の名所高田公園に近傍。デザインモチーフにはすの葉や実を採用し、構造ははすの茎からひろがる葉脈をモデルに、“張弦梁構造”を採用。またキリスト教会の教理の中心である三位一体を三つの塔で表現し、木造で造られたアプローチ塔は雪国の“雁木”のアレンジでもある。



小出福音キリスト教会 魚沼市 / 325.44㎡ / W 2F / 2004年

公と個の共有する一つの十字架は日常と非日常を透明化する。外観デザインは折り。

田上墓地休憩所 南蒲原郡 / 20.7㎡ / W 1F / 1998年

大きな魚（くじら）に飲み込まれたヨナさんが、3日目に陸地に吐き出される聖書物語を形にしたもの。復活の象徴でもある。



小千谷認定こども園

小千谷市/キムラ/471.15㎡(保育園)、
1,127.80㎡(幼稚園)/RC2F/2013年(保
育園)、2017年建築中(幼稚園)

おちや保育園

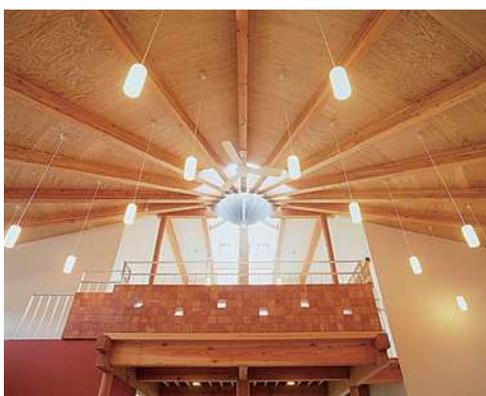
第22回県賞 優秀賞

コンセプトは、「三つの理」からの考察を
加えることとする。

- ① 自然の理
小千谷は小さな千の谷
- ② 歴史の理
慈眼寺の境内「慈」「悲」の眼
- ③ 人の理
トイが散りばめられたデザイン

小千谷幼稚園

コンセプトは、「才・勇・気」
保育室を結ぶ廊下スペースは、シルクロ
ードをイメージ



中条聖心幼稚園

第11回県賞 優秀賞

胎内市/577.66㎡/W2F/2001年

バリアフリーは、建築には大切な要
素である。しかし幼児教育的には「バ
リア」の存在もまた同じく大切な要
素だと考える。「3枚のおふだの幼
稚園」は、昔話「さんまのおふだ」
をヒントに山・火・川というバリアを
段差・太陽・雨に置き換え、楽し
い仕掛けづくりをした。構造は、自
然の森の中で生活するような温もり
のある木構造。



ふくちゃん保育園 第12回県賞 優秀賞/第1回長岡市景観行為 優良賞

長岡市/192㎡/W1F/2002年

福祉施設の院内保育園「ふくちゃん保育園」は窓がテーマである。窓は目であり、鼻であり、口でもある。その組み合わせが笑顔をつくり、しっかりと外と内をつなぐ機能を持っている。

済生会三条病院附属保育園たんばぼ

三条市/大石組/975.59㎡/RC2F/2016年

保育園と病児・病後児保育ルームの合築施設。
未満児が明るく元気に過ごせる建物は、おもちゃ箱と積み木のイメージ。



リプチの森 間知づくりプロジェクト

第18回県賞 優秀賞／第8回 地域住宅計画賞 奨励賞／第24回 日本建築学会北陸支部「北陸建築文化賞」／第5回 長岡市都市景観賞

長岡市／16,102.12㎡／48区画分譲地／2006年～

人々の住まう居場所は、緑豊かな森づくりでもある。1/fのゆらぎの道、コモン、公園、リプチの丘、遊歩道。水が流れ、植えられた木々からあたたかい自然の温もりを感じる街。再び(り) 小さな(プチ) 森をつくろう!を合言葉に歴史あるこの地、摂田屋で計画された新しいまちづくりのコンセプトは、

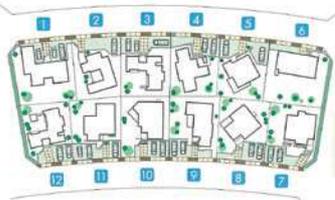
1. 自然との共生 2. 歴史との共生 3. 人々の共生
「間知(まち)づくり」と呼称したサステナブルな新しいまちづくりの提案である。



陽光台プロジェクト

長岡市／12区画分譲地／2004年～

長岡ニュータウン12区画のプロジェクト。「まち」を統一するための歩道やゲート、モニュメント塀が、当プロジェクトの風景を作り出してくれる。「すま居方」(方向)と「間知(まち)」(距離)をうまく機能させた街づくり。



かきの木通り

新潟市／19区画分譲地／2003年～

歴史を刻んできたレンガ塀や木々を残し、自然との共生がコンセプトの街づくり。この中を通る道路は、柿や松、桜などの木々をかわし、引き立てるように曲がりながら通り抜ける。すでにある街の固有の性質を生かすことは、まちづくりの普遍的な命題であると私たちは考える。

(監修：玉井一匡 建築研究所)



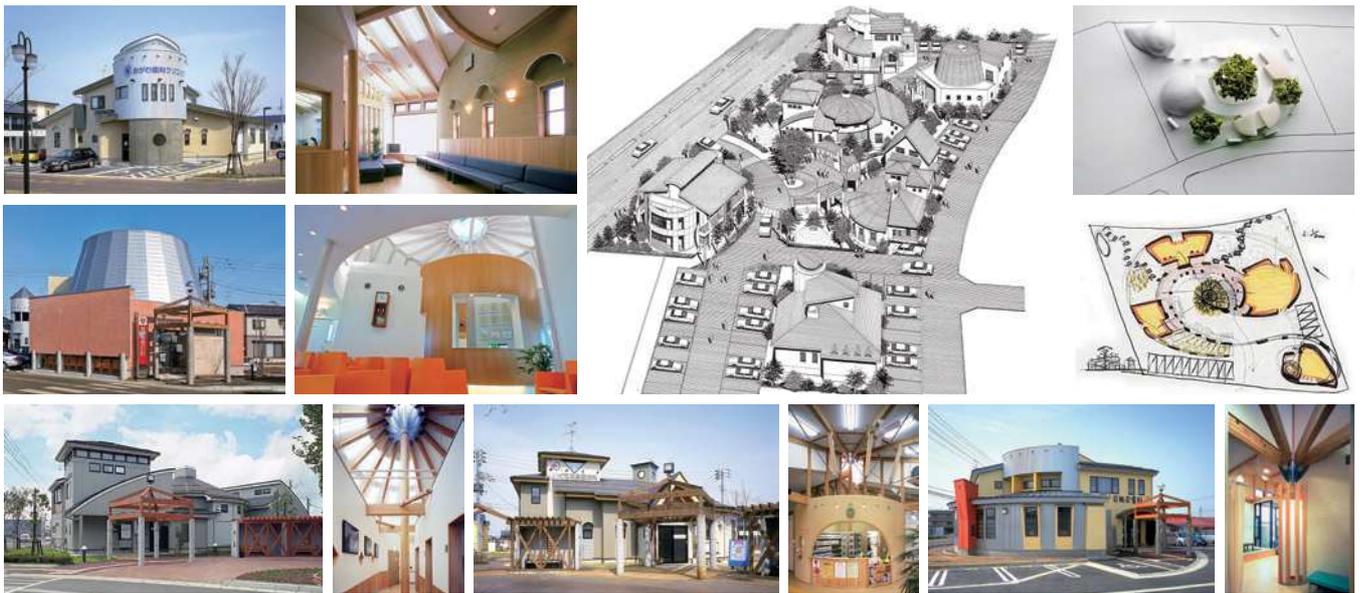


ミトロの森

メディカルパークプロジェクト

第8回県賞 最優秀賞 / 第24回建築士事務所全国大会 奨励賞 / 第15回 日本建築学会北陸支部「北陸建築文化賞」
見附市 / 2004年～

緑あふれる広場を核（コア）に、自然と人間の共生がコンセプト。宇宙が創られた時のような渦のコアをモデル化。その渦のまわりに惑星があるように5診療所（整形外科・耳鼻咽喉科・眼科・皮膚科・内科）+調剤薬局を配置。それぞれの棟は、パーゴラ風ゲートからアプローチし、各診療所棟は自由な方向を向き、隣棟間はほどよい距離を持っている。



長岡療育園

長岡市 / 本間・大石 JV / 7,033.63㎡ / RC + S, SRC 4F / 2014年

重症心身障害者のための施設。床やベッドから窓の景色が良く見えるように手摺も透明に。屋上は緑化されていて、デッキテラスで過ごすこともできる。



生命の川計画プロジェクト

信濃川の自然をとりこみ、緑と水、涼やかな音と香りに満ち溢れ、虚弱者も健常者も、老いも若きも、いわゆる「童の笑い声や人々のざわめく」空間として共存していく…。





秋山孝ポスター美術館 長岡

第3回長岡市都市景観賞／第19回県賞 奨励賞

長岡市／141.58㎡／RC+W2F／2009年（リノベーション）

大正時代に建てられた銀行（歴史的建造物）を美術館にリノベーション。大切なのは“もの”だけでなく、活動する“こと”が重要！ハードとソフト両面からのプロジェクトであった。美術館（ハード）＋美術館活動（ソフト・運営）。豊かな街には歴史があり美がある。その歴史と美が次の世代に継承されるステージ（居場所）としてのリノベーションであった。
2016年登録有形文化財となる。



ギャラリーみつけ

見附市／笹原建設／914.03㎡／RC+S2F／2016年（リノベーション）

もともとは、法務局として使用されていた。敷地の好条件を背景に市民の皆様の美術活動の拠点として、ギャラリーみつけはオープンした。



橋設計 第13回県賞 優秀賞

長岡市／412.7㎡／RC+S+W ハイブリッド／2013年
橋の設計をする事務所のデザインモチーフは、橋桁そのものである。兩岸に掛け渡された橋空間構造はキールをそのままデザインする。



楽舞の工房 モクコード

第4回県賞 優秀賞

高田建築事務所 本社設計室 1994年

張弦梁構造モクコードは、構造デザインを素直に表現した空間づくり。木・鉄・RCの素材特性を生かした調和の感性から生まれたハイブリッド工法である。



ANOTHER ROCKET

高田建築事務所 新潟営業所 2016年
道路を挟んだ自然科学博物館の庭に展示されたロケットロケーションと対を成す。プロジェクト名はアナザーロケット。強・用・美を意識し、様々なアイデアを搭載した未来型のオフィス。2Fは四周に開放されたスタッフ達のクルースペース。

